

事後評価シート

| | |
|----------------|--|
| 調査研究課題名 | 地域産業の活性化に資する輸出力強化に向けた航空貨物輸送の市場実態に関する調査研究 |
| 担当者 | 前研究官 金原章夫、研究官 織田直人、研究官 服部恭子、 研究調整官 鈴木淳一郎 |
| ① 当初目標と目標達成度 | <p>本調査研究は、日本発の航空貨物輸送の実態・課題及び世界的な航空貨物輸送の市場や運賃決定の実態を把握し、航空等関係分野における農林水産品などの輸出力強化施策の検討を進める上での基礎資料の提供を目標として、令和2年度～令和3年度の2箇年に渡り実施した。</p> <p>2年目となる令和3年度は、農林水産品の航空輸出において地方空港の活用につなげるにはどうすべきか、というテーマのもとに、地域産業活性化に資する輸出力強化に向けた施策について検討・考察を実施するため、地方空港を活用した農林水産品輸出促進の想定モデルケースを設定し、想定モデルケースの実現に向けた課題を抽出、農林水産品の航空輸出における地方空港活用に向けた課題を整理し、対応案の検討を行った。</p> <p>調査では、空港運営権者・空港ビル事業者等、航空事業者、貨物利用運送事業者等の全国空港等関係者へのアンケートの実施、先行して輸出が進められている事例に関するインタビュー調査の実施、文献・統計調査により選定した輸出促進候補品目を元に想定モデルケース空港として仙台、小松、広島、鹿児島 の4空港を選定し、関係者へのインタビュー調査の実施により詳細な課題を抽出した。それぞれ抽出した課題については、輸出フェーズ毎に整理し、整理した課題をもとに対応案の提案を行った。したがって、目標を達成できたものとする。</p> |
| ② 調査研究内容の妥当性 | <p>日本発の航空貨物輸送の実態・課題及び世界的な航空貨物輸送の市場や運賃決定の実態について把握するため、1年目は農林水産品の航空輸出の動向及び問題点を調査し、その結果をもとに農林水産品の航空輸出における課題を整理した。あわせて、農林水産品も含めた航空貨物運賃の形成の仕組みについても調査し、航空貨物輸送の実態を把握した。</p> <p>2年目は、国土交通省は今後、地方空港を活用した物流について取組を進めることを踏まえた上で、農林水産品の輸出をさらに促進するために、地方空港の利用を含めた航空輸送をどのように活用すべきか、というテーマのもとに、関係者へのインタビュー等調査を通じて、農林水産品の航空輸出促進ターゲット品目の整理及び地方空港からの航空輸出における諸課題、地方空港活用に向けた対応案の整理を行っており、これらは今後の取組を検討する上で基礎的な情報を提供できるものと考えられる。</p> |
| ③ 調査研究の仕組みの妥当性 | <p>調査研究を進める過程で随時 有識者ヒアリングを実施し、有識者から調査の方向性等についてご助言をいただいた。有識者は、航空分野、物流分野に知見を有する学識経験者に就任いただいた。なお、本調査研究は、国土交通省航空局や農林水産省との連携のもとに実施した。</p> |
| ④ 成果と活用 | <p>本調査研究の成果を当研究所のホームページで広く公表することを予定している。また、本調査研究の成果は、航空等関係分野における農林水産品の輸出力強化施策の検討を進める上での基礎資料として活用されることが期待される。</p> |
| ⑤ その他 | <p>調査研究内容を令和4年6月に開催された 国土交通政策研究所研究発表会にて報告した。</p> |